



「トライアスロン運営ボランティアに参加」 自己の限界に挑戦する選手をサポート

福江高等学校

福江高校では、毎年9月に伊良湖で開催される「トライアスロン伊良湖大会」の運営に全生徒・職員・PTAで協力しています。大会当日の生徒たちの様子をお伝えします。

●観察・応援

生徒たちは、バイクやランコースに、10m～50mの間隔で1人ずつ立ち、選手の安全を見守りながら、応援をします。大声で「がんばって!」「ファイト!」「ナイスラン!」などと声を掛けると、選手は苦しい状況にもかかわらず返事をしてくれます。中には「ありがとう」と言葉を返してくれる選手もいます。生徒は選手の反応に心を打たれ、さらに元気に声援を送り、選手は生徒の声に励まされ、ゴールを目指します。



●名簿を見て名前を呼びながら声援を送る生徒たち



●ドリンクを渡す生徒たち

●エードステーション

エードステーションは、コース途中に用意された給水ポイントで、選手にスポーツドリンクや水、氷、バナナなどを渡します。

ランコースのエードステーションでは、選手の頭から、ホースで水をかけます。コースは水びたしになり、生徒をはじめ全スタッフがずぶ濡れになります。大変な役割ですが、歯を食いしばる選手を支援していることが実感でき、とてもやりがいを感じています。



●タオルを掛ける生徒

●ゴール

ゴールでは、ゴールテープの用意や選手の記録のほか、選手にタオルを掛けたり、ゴール後の選手からバンドを取り外したりします。自己の限界への挑戦を終えて充実感を見せた選手を友人や家族の方が出迎えるシーンは感動そのものです。「家族や友人のきずな」の強さと大切さを感じることもできる最高の瞬間です。

●「トライアスロン伊良湖大会2016」

今年も、福江高校は全力で選手を応援します!

生徒の声

ランコースで走る選手を応援しました。大きな声で「がんばれ!あともう少しです!」と叫ぶと「ありがとう!」と声をかけてくれる人や手を上げてくれる人がいて、とても応援しがいがありました。
(3年女子)

